

茂岩山自然公園 各施設がオープン

問合せ先
役場施設課
施設住宅管理係
☎574・2215

茂岩山自然公園各施設がオープンします！

利用期間 4月29日（金）～11月3日（木）



森 林 公 園			
バ ン ガ ロ ー		日帰り	宿泊
	A (6 人用)	1,500円	3,000円
	B (4 人用)	1,000円	2,000円
	C (2 人用)	500円	1,000円
キ ャ ン プ 場	テント1張1泊		300円
寝 具	1式1日(マット・毛布・枕)		600円
炊事兼焼肉施設 (バーゴラ)	1人1回	高校生以上	100円

茂岩山パークゴルフ場

○パークゴルフ場は無料で利用できます。また、用具（クラブやボール）も無料で貸出します。

茂岩山グリーンハウス

○スポーツをした後の休憩所としてご利用ください。テニス用ラケットやボールは無料で貸出します。

テニスコート	1面1時間	600円
サイクリングコース用自転車	1台2時間	300円

※テニスコートに入る場合は原則としてテニスシューズ（運動靴可）を履いてください。

森林公園管理棟（陶芸教室）

管理棟利用料金（中学生以下無料）	施設利用料	1人1日	200円
	年間利用料	1人年間	20,000円

※年間利用券は、4月1日（金）から、役場施設課（3階）または大津支所で購入できます。

▽茂岩山自然公園各施設がオープン
広報とよころ

役場だより

農地の賃貸料情報をお知らせします

問合せ先
農業委員会事務局
☎574・2218

農地の賃貸料情報につきまして、令和3年1月から令和3年12月までの1年間の状況をお知らせします。

農地の賃借料情報（令和3年1月～令和3年12月）【10a当たり】

地域名	平均額	最高額	最低額	件 数
豊頃町全域	4,400 円	9,000 円	1,000 円	71 件

※額は算出結果を四捨五入し100円単位としています。

（参考） （1）過去3年間の平均賃借料（平成30年～令和2年）【10a当たり】

地域名	平均額	最高額	最低額	件 数
豊頃町全域	4,900 円	9,900 円	1,000 円	85 件

※額は算出結果を四捨五入し100円単位としています。

（2）改正前の農地法における標準小作料額（町内一円）【10a当たり】

上	8,000 円	中	5,000 円	下	2,000 円
---	---------	---	---------	---	---------

郷土文芸誌『河口』 第46号の原稿を募集します

郷土文芸誌『河口』はミニ町史として地域に根ざした独自の文化発展を目指して、第46号の発刊を令和5年3月に予定しています。趣旨をご理解いただき多数の応募をお待ちしています。

▽応募資格▽高校生以上の町民（原則）、または町内に在住していた方

▽応募作品

▽小説・戯曲・回想・童話Ⅱ20枚以内
▽随筆・記録等Ⅱ7枚以内▽短歌・俳句・川柳等（各題をつける）Ⅱ7首・7句
▽詩Ⅱ30行以内▽その他Ⅱ20枚以内
▽400字詰め原稿用紙、もしくはパソコン原稿可

『みんなで創る文化・スポーツ公（講）演支援事業』補助制度について

この制度は、町民の皆さんが企画し、由に参加できる公演（講演）会の開催を支援し、町の文化活動を高めていくことを目的とした制度です。5人以上で構成された団体やグループが主催する芸術公演やスポーツ講演等に対して、開催規模に応じて事業費の3分の2以内を助成するもので、開催者の負担を軽減し、公演（講演）会を円滑に運営できるよう支援するものです。

なお、対象となる入場者数の上限について通常時と新型コロナウイルス感染症の対策期間とは異なります。

補助 限度額	補助率	入場者数	
		コロナ 対策期間	通常時
50万円	2／3 以内	50人以上	100人以上
25万円		25人以上 50人未満	50人以上 100人未満
15万円		15人以上 25人未満	30人以上 50人未満

問合せ先

教育委員会教育課
社会教育係
☎574・5801

問合せ先

教育委員会教育課
図書係
☎579・5802

▽募集期間▽8月31日（水）まで

▽応募上の注意▽応募原稿の末尾に、住所・氏名・年齢・ふりがな・電話番号を明記してください。（ペンネームの場合は本名をカッコ書きにしてください）Ⅱ厳守
▽応募原稿は返却しません。
▽応募原稿の選考と編集は、教育委員会が委嘱する編集委員によって行い、作品数による掲載の有無は、編集委員会において決定します。
▽原稿掲載の場合は、『河口』を1部贈呈します。

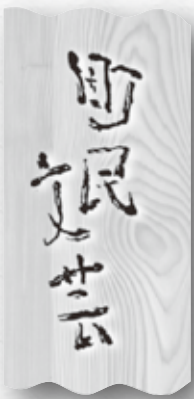
▽申問 教育委員会教育課図書係（〒089-5302 豊頃町茂岩本町166番地）

茂岩俳句会

風荒れて十勝の春のまだ遠し 甘粕 恵美子
白樺の幹肌にツヤ春隣 堂 前 真実
ご無沙汰のピアスゆらりと風光る 野 田 のり子
反抗期今宵忘れる雛まつり 長 崎 あけみ
雛の夜や娘の作りたるちらし寿し 牧 野 ユキ
どろどろと揺かし屋根の雪落つる 松 井 テル子
拘りの払ひきれざる余寒かな 中 屋 吟 月

豊寿文芸

チヨロチヨロと母の忌近し雪解水 海 富 智 恵
凍烈や夜半の底ゆく救急車 堀 田 幸 子
嬰兒よ雪と知るのもすぐだろっ 前 川 ひとみ
二重窓霜の織りなす山百景 上 田 知 子
障害を笑って生きた昭和の日 垣 内 順 子
開拓の歴史を黙し木の根開く 福 井 一 浩
二合半の酒に酔ひもし夜の雛 伊 藤 泰 山
マネーツリー座敷陣取り日脚伸ぶ 徳 田 則 子
ここだけの話蜜柑の皮を剥く 西 本 牧 童



▽町民文芸ほか
広報とよころ

役場だより